

クルクル ぐるーり

B

実践概要

線の形や重なり、色などの模様の構成要素を分解した後、フローチャートを使用して自分が着たいTシャツの模様を選択してクレヨンで描くことを通して、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想することができるようにする。

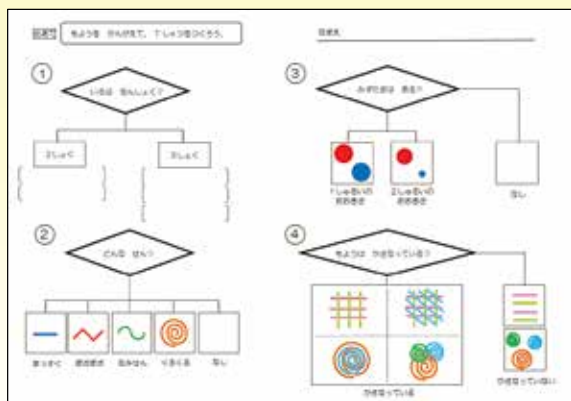
使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

「ルビィのぼうけん」 翔泳社

本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって、なじみのあるキャラクターを活用し、学習内容に対する関心を高める。
展開	<p>もようをかながえて、Tシャツをつくろう。</p> <p>1 模様のパターンを分解して理解する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教師の提示する模様から、どのような線の形や重なり、色などの模様のパターンでできているか考える。 ●4種類の模様のパターンから、どの模様に当てはまるかを考えるクイズに答える。 <p>2 自分の着たいTシャツ模様のイメージにあわせてパターンを選択する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パターンを選択する。 ●Tシャツ型の画用紙にイメージ図を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○線の形や重なり、色などの模様のパターンについて、全体で共通理解しておく。 ★模様の構成要素を理解し、自分の着たいTシャツの模様のイメージに合わせてパターンを選択している。【知】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えた模様が描けたか確認し、次時の予告をする。 	

ここに注目！（本事例のポイント）



自分が着たいTシャツの線の形や種類、模様の重なりなどを選択させるフローチャートを作成した。



フローチャートを使って模様を選択した結果、自分の着たいTシャツのイメージに近い模様をかくことができた。